

令和5年10月13日

鹿児島市立吉田北中学校



北だより 9月号

行事

## 第16回小中合同大運動会

### 3つの体力

校長 鮫島 譲

第16回小中合同大運動会が、秋晴れの素晴らしい天気のもとで開催されました。小人数ながらも、力強い演舞や全力疾走、役員としての自覚ある行動など、小学生のお手本となる素晴らしい運動会でした。今年度はコロナ渦明けでしたので「0.8日開催」としましたが、久しぶりに弁当を広げる光景に思わず笑みがこぼれました。来年度は「1日開催」とし、生徒たちの活躍の場をより多く設定したいと考えています。頑張った生徒の皆さん、支えてくださった保護者の皆様方、ありがとうございました。さて運動会が無事終わり、次は文化祭に向けての準備が始まります。期間は短いですが精一杯の取組を期待します。同時進行で、3年生は進路選択が一層本格化します。先日は公立高校の募集定員が発表されました。いよいよのんびりと構えるわけにいかなくなりました。また、全員にとって秋の過ごし方は健康面において冬を乗り切るカギとなります。この時期ならではのこうした特徴を考えたとき、皆さんには3つの『たいりよく』を高めてほしいと思います。

1つ目は『体力』です。体力はあらゆる活動の源となります。私たちの健全な発達や成長を支え、より豊かで充実した生活を送るうえで欠かせないものであり、体力が高まれば物事に取り組む意欲や気力も高まります。是非とも意図的に体を動かす機会を作ってください。

2つ目は「忍耐力」の『耐力』です。困難や逆境などの状況で、我慢せずすぐにあきらめるのではなく、それを乗り越え目標の達成に向かっていく姿勢を大切にしてください。精神的な逞しさが身につき、それは学習面にも当てはまります。

3つ目は「連帯力」の『帯力』です。共感力が高まる中学生期だからこそ、自分に関係することだけを受け入れるのではなく、他者と協働して物事を成し遂げ、感動の経験を共有してください。他者との関わりの中で、思いやりや責任感も育まれます。学習や運動など、様々な活動が活発になる2学期です。3つの『たいりよく』を育みながら大きく成長してくれることを願っています。

小中合同大運動会を終えて  
生徒会長 3年

「完全燃焼 勝利の旗をわれらの手に！～白組 紅組 勝利のために 笑顔かがやけ吉田っ子～」のスローガンのもと、3年ぶりに1日開催となった小中合同大運動会で、全力を出し切ることができました。皆さんお疲れ様でした。

運動会に向けて、小学生の皆さんも、中学生の皆さんも、授業中だけではなく、昼休みや放課後など、たくさんの時間を使って練習を重ねてきました。すべての競技を終えた今、嬉しい想いも、悔しい想いもあると思いますが、これまで努力を積み重ねてきた時間は、私たちにとって大きな財産になると思います。特に、私は仲間の大切さや目標に向かって頑張る姿勢など、たくさんのことを学ぶことができたと思っています。

これから、文化祭や音楽会などの行事が続きますが、この運動会での経験を活かし、全校生徒で団結して取り組んでいきましょう。

最後に、私たちを温かく支えてくださった先生方、保護者の皆さん、地域の皆さん、最後まで応援してくださり、ありがとうございました。私たちはこれからも頑張ります。温かく見守ってください。



3年生を対象に、4月18日(火)に行われました全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。各教科、職員研修での分析により、本校の課題等が明確になりましたので、今後は以下のように取り組んでまいります。

【国語】

全国の平均通過率をやや下回っている状況ではありますが、話すこと・聞くことについては、全国の平均正答率を上回っています。しかし、書くことについては課題が残りました。特に、文脈に即して漢字を正しく書く問題や読み手の立場に立って、叙述の仕方等を確かめて文章を整える問題については、語彙の習得が不十分なこともあり、正答率が低くなったと考えられます。

今後は、単元学習の中に語彙に関する指導の時間を、意図的に取り入れていきたいと考えています。また、様々な言語活動を通して、文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えさせたり、叙述の仕方等を確かめて文章を整えたりすることができるような指導に努めてまいります。

【数学】

全国の平均正答率と比較すると、大きく下回っている状況です。

特に、知識・技能を必要とする問題について課題が残りました。自然数の意味や比例・反比例の特徴などの基本となる用語の理解と基本的な計算問題を解く等の、基礎的・基本的内容の定着が不十分であることが分かりました。

今後は、入試問題等を活用し、反復練習の時間を意図的に多く取り入れていくことで、既習事項等の定着を図りたいと考えています。また、生徒の実態に即した個別の課題等を準備するなど、個に応じた指導の充実に努めてまいります。

【英語】

全国の平均正答率と比較すると、大きく下回っている状況です。

聞くことについては、日常的な話題について短い情報を聞き取ることはできますが、場面や状況等に応じて必要な情報を聞き取ることに課題があります。話すことについては、英語の特徴やきまりに関する事項の理解が不十分なことから、自分の考えやその理由を伝えることが難しいと考えられます。読むことや書くことについては、基本的な語句や文法事項を理解できていないため、文章を正確に読んだり概要を捉えたりすることができないので、書くことについても大きな課題になっていると考えられます。

今後は、英語の規則性に気づかせ、基本的な語句や文法事項を定着させるとともに、実際の使用場面と結び付けながら、繰り返し「聞く」「読む」「話す」「書く」活動の中で定着を図ってまいります。また、タブレットでの音声学習や演習も適宜取り入れながら、個別指導を充実させられるように努めてまいります。

【全体的に】

生徒質問紙の結果より、本校の生徒は地域行事に積

極的に参加し、地域や社会に貢献したいと考えている生徒が多いことが分かります。また、困っている人がいるときには、進んで手助けをする、いじめは絶対に許してはいけないと思っている生徒が多いことも読み取ることができます。

一方で、自分のよさを理解できない、自分の将来について夢や目標をもつことができない、といった生徒がとても多いことが分かります。また、学習面では、家庭学習の時間が十分に確保されていない、計画を立てて学習に取り組むことができない、といった生徒が多いことも読み取ることができます。

そこで、学校においては、生徒たちが自己肯定感を高められるように、成功体験や達成感、成就感を味わわせられるような機会を多く設定し、賞賛や激励の声掛けを積極的に行っていくとともに、生徒たちが将来の夢や目標をより具体的に描くことができるようにキャリア教育の充実に努めてまいります。また、学習面においては、少人数の特色を生かして個別指導を充実させ、基礎的・基本的事項を定着させられるように取り組んでまいります。

9月23日(土)に、小学校のおやじの会と中学校の父親セミナーの皆さんのご協力により、緑門づくりを行いました。コロナ禍のため、令和元年以来の緑門づくりになりましたが、手際よく作業が進み、見事な緑門が完成しました。4年ぶりの1日開催となった小中合同大運動会に花を添えていただきました。ありがとうございました。



- 3日(火) 校内八〇ーワーク
- 4日(水) 薩摩焼陶芸教室(3年生)
- 6日(金) 英語検定(放課後)
- 9日(月) (祝) スポーツの日
- 13日(金) かごしま国体応援観戦(卓球競技)
- 14日(土) 土曜授業 生徒会立会演説会
- 18日(水) 生徒会専門部会
- 24日(火) 全校朝会・生徒朝会
- 26日(木) 市中学生英語スキット・スピーチコンテスト
- 27日(金) 文化祭準備・リハーサル
- 30日(月) 小中連携参観週間(~11/2)
- 31日(火) 実力テスト(3年)